

事業別戦略

もともとはボールベアリング専門メーカーとして創業した当社は、機械加工で培った超精密加工技術をはじめとするコア技術を電子機器事業へ応用。

多角的な事業ポートフォリオが世界でも類をみない「**相合精密部品メーカー**」としてユニークなポジションを構築し、リスク分散にも寄与しています。

機械加工品事業

2021年3月期実績

売上高 **1,574** 億円

営業利益 **312** 億円

ハイライト

ボールベアリングの総販売数量、生産数量は単月で過去最高を記録

主要製品



主な製品

ボールベアリング、ロッドエンドベアリング、スフェリカルベアリング、ファスナー、ピボットアッセンブリー

主な用途



機会

- 最終製品のエネルギー効率化やダウンサイ징に貢献する高品質ベアリング全般の需要増加。
- 自動車の電装化、EV化を背景とする1台当たりベアリング使用数量の増加。
- データセンター向けをはじめとする冷却装置向けベアリングの需要増加。
- 航空各社による低燃費高効率エンジンを搭載した新型航空機への転換。

リスク

- 競合各社によるミニチュア・小径ボールベアリング市場への参入意欲の高まり。
- HDD市場の縮小に伴うピボットアッセンブリー販売数量の中長期的な減少トレンド。
- 世界的な旅客需要の低迷による新造航空機の生産レート低下。

機会とリスクへの対応

- ボールベアリングの能力強化を早期に実施し、競争力をさらに強化。
- 航空機向けベアリングの強みをいかしシェアアップをはかる。
- 積極的なM&Aで機械加工品における新たな柱を打ち立てる。
- 製品の精度をさらに引き上げ、顧客に新たな価値を提供。

電子機器事業

2021年3月期実績

売上高 **3,638** 億円

営業利益 **176** 億円

ハイライト

モーターを中心とした安定的な成長の土台が確立

主要製品



主な製品

HDDスピンドルモーター、ステッピングモーター、ファンモーター、DCモーター、LEDパックライト、レゾナントデバイス、センシングデバイス

主な用途



機会

- 省エネルギーと静音化に貢献する小型で精密なモーターの需要増加。
- 自動車のEV化によるモーターの新規分野への参入機会が拡大。
- 産業機械/FA/ロボット市場の拡大によるアクチュエータ、冷却FAN等の需要増加。
- レゾナントデバイスをはじめとする新規市場の形成。

リスク

- 中国における低コストな競合メーカーの台頭。
- 原材料および部品価格の高騰による収益構造への影響。
- 新技術による既存技術の代替が想定以上のスピードで進展。(HDD市場、スマートフォン市場)

機会とリスクへの対応

- 成長市場では注力分野での需要増に対応し拡販。
- 成熟市場では設計変更や材料費低減を含めたコスト削減等で競争力を強化。
- 相合による強みをいかし他社に先行した製品開発により事業機会を獲得。

ミツミ事業

2021年3月期実績

売上高 **3,610** 億円

営業利益 **198** 億円

ハイライト

アナログ半導体の大幅な利益拡大で確かな収益源として確立

主要製品



主な製品

精密部品、光デバイス、電源、機器部品、車載製品、アナログ半導体

主な用途



機会

- 車載、コミュニケーション、医療等の主要分野におけるさらなる低消費電力・小型・高精度化へのニーズ拡大。
- 非接触型製品の需要増加を受け無線通信技術、センサIC等の活用機会拡大。
- AI/ビッグデータを背景とする自動車、住宅機器、インフラ等のコネクティビティ向上。

リスク

- 既存技術を代替する新技術/アプリケーションの台頭。
- 中国における低コストな競合メーカーの台頭。
- 米中貿易摩擦に伴うハイテク産業に対する規制強化。
- 半導体の業界再編による大型M&Aと寡占化。

機会とリスクへの対応

- 技術力をいかした新製品の開発および新規顧客の開拓に注力。
- 事業の成長フェーズに合わせた設備投資計画の見極め。
- アナログ半導体の能力拡張および社内リソースとのシナジー創出による競争力の強化。

ユーシン事業

2021年3月期実績

売上高 **1,051** 億円

営業損失 **19** 億円

ハイライト

構造改革に着手し、成長領域にリソースを集中

主要製品



主な製品

自動車部品（ドアラッチ、ドアハンドル等）、産業機械用部品、住宅機器用部品（ビル、住宅用錠前その他）

主な用途



機会

- 自動車におけるドア開閉システムの電動化/高機能化に伴う高付加価値品へのシフト。
- コネクテッドカーへのシフトによるデジタルキー市場の増加。
- ハンドル、ラッチ、CSD*の高付加価値化による1台当たり要素部品点数の増加。
* Compact Spindle Drive
- CSDの搭載率向上。

リスク

- 競合他社による攻勢の強化およびそれに伴う価格戦略への影響。
- 景気動向や部品調達難等を背景とした自動車メーカーの生産調整。
- 部品/機能の安全性や共通化等の要因により自動車メーカーが既存製品を選好する可能性。

機会とリスクへの対応

- 構造改革の実施により低価格品から高付加価値品にシフトする。
- 技術のプレゼンスを高め、高級車メーカー向けハイエンド製品の開発を加速する。
- 当社独自のモジュール化/アクチュエータ化による共通エンジンを開発する。